



湯のまち、youのまち、登別。

市制施行50周年

記念式典

8月1日(土)に、市民会館で、市民の皆さんや本市にゆかりのある方々、また姉妹都市や近隣市町からも多くの関係者を招き、記念式典を開催します。

同日には、川上公園を会場に、『第2回のほりべつ元鬼まつり』や『市制施行50周年記念市民花火大会』を開催する予定です。

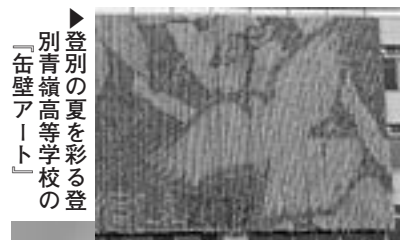
ロゴマークなどの決定

市制施行50周年を記念して公募した『ロゴマーク』や『キャッチフレーズ』、オリジナルデザイン『結婚届』と『出生届』、『原動機付自転車のご当地ナンパレポート』を決定しました。

市内の中学校や高校、日本工学院北海道専門学校に通う学生の皆さんの投票により決定した『ロゴマーク』は、市制施行50周年以降もさまざまな場面で活用していきます。

市民実行委員会と連携した記念事業

登別青嶺高等学校との『缶壁アート』や北海道登別明日中等教育学校との『期間限定の道の駅』など、市民実行委員会と連携した



登別の夏を彩る登別青嶺高等学校の『缶壁アート』
遠くを夏ルサイバスキー場は情を夏ルサイバスキー場と表せるカ温泉スンスキー

記念事業により、地域と学校とのつながりを深め、50周年が若い世代の記憶に深く刻まれるよう努めていきます。

また、秋には、市民実行委員会主催で、カルルス温泉サンライバスキー場を会場に、市内外から参加者を受け入れる『市民スポーツ大会』を開催するほか、8月までは、日本郵便株式会社の協力で『市制施行50周年記念切手シート』を発行、10月には、子どもたちの職業体験と、市内企業の魅力発信を目的に、北海道コカ・コーラボトリング株式会社の協力を受け、『のほりべつキッズタウン』を開催します。

登別の魅力発信

『のほりべつ景観・みどりフォトコンテスト』を開催するほか、緑陽中学校付近の富岸川沿いに、桜の植樹などを行い、新たな市民の憩いの場の創生を目指します。

たな時代に向け、力強く進み続けるまちづくり

たな視点で、だれもが快適に安心して暮らせるまちづくり
たなニーズに対応し、活力に満ちた魅力的なまちづくり

新

各種防災訓練

防災についての知識を深め、地域防災力のさらなる向上を図るため、市制施行50周年を記念した防災研修会を開催するほか、冬期間における避難所の開設・運営訓練を開催します。



▲多くの市民参加のもと、行った避難所開設訓練 (令和元年7月)

各種防災計画の策定

近隣自治体で災害が発生した際に備え、『後方支援計画』の策定を進めるほか、大規模な災害などで、行政機能と市民生活の重要な機能が致命的なダメージを負わない強さと、迅速に復旧するしなやかさをもった地域社会を築くため、『登別市強靱化計画』の策定を進めます。

登別市都市計画マスタープランの見直し

令和3年度を目途に見直しを進めている『登別市都市計画マスタープラン』について原案を作成するとともに、居住機能や医療・福祉、商業、公共施設などのさまざまな都市機能を誘導し、市街地の集約化を図るため、『立地適正化計画』の策定に着手します。

公共交通

また、市内企業などが災害時においても事業を継続できるように登別商工会議所などと連携し、BCP策定など各種セミナーの開催に向けて取り組んでいきます。

市営住宅の整備

利用者や事業者、行政機関などで組織する登別市地域公共交通活性化協議会での議論を進め、本市

3月から供用を開始する千代の台団地1号棟32戸に引き続き、1号棟24戸を整備するとともに、2号棟から4号棟並びに団地集会所の実施設計を行います。